

てんじんいけ (まわりいけ)  
天神池(回池)



貯水量;30,000m<sup>3</sup>



築造年代;不明 貞享三年(1686年)以前に存在

天神池は国道438号を、『ことでん』の高架部から南へ約500m行ったところの右側に位置し、築造年代は西隣にある西池と同時期と考えられます。

その後打越下池が築造され新田開発が進むにつれ、さらに用水の確保が必要となり、当時大庄屋であった木村家の指導の下増築されました。

水源は打越下池の水が大窪谷川に流れ出る水を取水しており、西大東川水系の水も利用されています。

近年になり昭和50年(1975年)の香川用水の通水により同用水の水が中心的な役割を果たすようになりました。

なお、池名ですが、近くにある宇閑神社(天神さん)の下にある池ということから「天神池」と公称していますが、地元では「回池(まわり池)」と呼ぶことが多くあります。